

小田原市報

第120号
発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
浦 寅 松
定価 一部三円
文進堂印刷所

人口121,877人
男 59,847人
女 62,030人
世帯 24,978
3月1日現在

新年度予算など審議

総額は二十億三千万円

市議会定例会はなわかれした。会期二十日以内をもち、三月十日召集され、審議が付託された。この定例会では、昭和三十五年各会計予算案の総額約二十億三千万円にのぼる。三年度各会計予算案の審議は、三月十日召集され、審議が付託された。この定例会では、昭和三十五年各会計予算案の総額約二十億三千万円にのぼる。三年度各会計予算案の審議は、三月十日召集され、審議が付託された。

三月市議会定例会

市議会定例会はなわかれした。会期二十日以内をもち、三月十日召集され、審議が付託された。この定例会では、昭和三十五年各会計予算案の総額約二十億三千万円にのぼる。三年度各会計予算案の審議は、三月十日召集され、審議が付託された。

福祉年金の支払

第二回目は五月六日から

福祉年金の第一回支払は、さる内各郵便局の窓口から高齢者、本市市長から三十五年の施政方針、三月三日から全国一斉に開始され、〇五〇人、身体障害者一七九人、及び各議案の提案理由の説明が行、小田原でも三月十六日現在で母子家庭九七世帯の方々それぞれ年金額が支給されました。



写真は小田原郵便局窓口における年金の支払

従業員に退職金制度

掛金は二百円から千円まで

このため政府は、単独で退職金制度を設けることができない実情を、中小企業に退職金制度を奨励する。このため政府は、単独で退職金制度を設けることができない実情を、中小企業に退職金制度を奨励する。このため政府は、単独で退職金制度を設けることができない実情を、中小企業に退職金制度を奨励する。

多くなる花見どきの犯罪

被害はすぐ警察へ

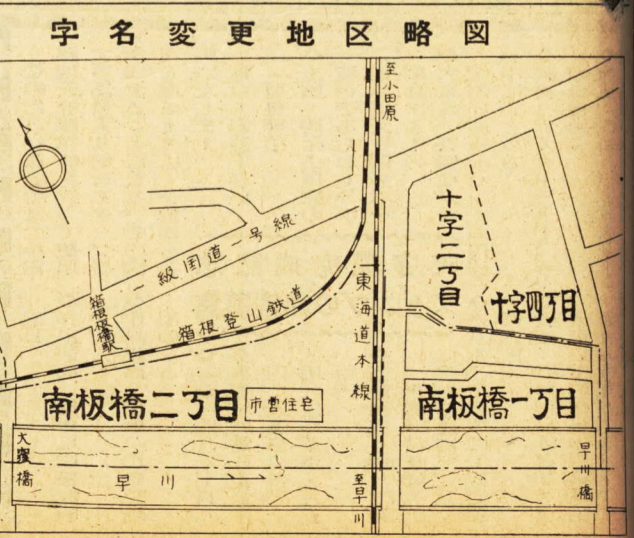
花見どきには、毎年「空車」、「自転車のつかばらい」、「女性に対する犯罪」、「暴力犯罪」、「押し売り」等が多くなります。このため小田原警察署では、四月一日から四月二十日までを春季防犯運動期間と定め、市民の皆さんが、これらの被害にからないように、巡回を強化するとか、空車に入られやすい家の防犯診断を実施いたします。



下曾我小給食場が完成

この給食場は、作業員が働きやすい調理室をはじめ、更衣室、準備室、倉庫、配食戸など及び受け渡し場などが完備された木造平家建て、延床面積二二・三二四平方メートル、工事費九十五万七千五百円で完成したものです。同校の完全給食実施により、市内十九の小学校は全部完全給食となり、日曜日を除く平日には、約一万七千人の児童と教職員が毎日給食を受けることになりました。

このたび小田原市計画課が、岸土地区画整理第一工区の事業が完了いたしましたので、三月一日から板橋二丁目及び二丁目に変更、同時に地名も変更されました。変更地域は次のとおりであり、詳細は建設部都市計画課にお尋ね下さい。



建設だより
下曾我小学校校舎改築第三期工事
退職金納付の一例をあげますと、毎月二百円の掛金をかけた場合は、一年七二〇円、三年二、一六〇円、五年二、七九〇円、十年四、〇四〇円、十五年五、四四〇円、二十年七、二〇〇円、二十五一年一七、五六〇円、三十二年二七、五三〇円、三十五年三九、七〇〇円となっております。

国民健康保険事業
これら費用の財源には、皆さんから納めていただく保険料と、国や県からの補助金、市の一般会計協力により、毎年度から繰入金等が充てられます。その内訳は次のとおりです。

4月の納税
固定資産税 昭和35年度 第一期分
都市計画税 昭和35年度 第一期分
軽自動車税 昭和35年度 全期分
納期限 4月30日
税金はぜひ納期にお納め下さい。

募集 官衛自

付～日 願日 受日
3月15日 願日 受日
4月15日 願日 受日
4月18日 願日 受日
2空初 願日 受日
6.500 願日 受日

詳細は 市役所庶務課

緊急の事件は 一一〇番へ
小田原警察署

4月の納税
固定資産税 昭和35年度 第一期分
都市計画税 昭和35年度 第一期分
軽自動車税 昭和35年度 全期分
納期限 4月30日
税金はぜひ納期にお納め下さい。

